

**日本版スチュワードシップ・コードの実施状況の自己評価
2019年（1～12月）**

2020年8月31日

ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社およびその関係会社（以下「ティー・ロウ・プライス」）は、世界中の顧客のために資産を運用しており、長期視点に基づいたアクティブ運用戦略を主に提供しております。よって、投資先企業のアクティブなモニタリングやエンゲージメントは私どもの運用プロセスの中核の一部を担っています。

資本市場が有効に機能するためには、企業と投資家の双方が責任をもって建設的に対話を行い、それぞれが深い理解を有していることが必要であると考えています。よって、ティー・ロウ・プライスでは投資家として必要とされる分野に継続的に資本投下し、スチュワードシップ責任の全うおよび高水準の維持に努めています。

		ポイント	原則	評価	コメント
ス チ ュ ワ ー ド シ ッ プ 責 任 を 果 た す た め の 方 針 等	日本版スチュワードシップ・コードの受け入れ状況	コードの受け入れ	-	あり	
		コードを受け入れていない場合の理由	-	-	
	スチュワードシップ責任を果たすための方針	方針の内容	1	A	議決権・責任投資・エンゲージメント等の各方針について、ESGコミッティーにより毎年見直しが行われております。
		情報開示	1	A	弊社ホームページにて開示しております。
		各原則に対するコンプライの状況、またはエクスプレインの内容	1	A	サービス提供会社向けの原則8を除き、全ての原則に対しコンプライしております。
方針に変更がある場合、その内容と変更理	1	A	方針には変更はないものの、2020年スチュワードシップ・コードの改訂に伴い、サステナビリティに関するエンゲージメントについて定期的な報告を可能とする点、および議決権の行使理由についてもウェブサイトにて報告する点を		

		由			明示しました。
ス チ ュ ワ ー ド シ ッ プ 責 任 を 果 た す た め の 方 針 等	スチュワードシップ責任を果たすための体制	組織体制	2,3, 4,5, 7	A	議決権行使の分析はガバナンスチームが、行使判断は運用部門が行っております。エンゲージメントは主に運用部門が担っています。また、発行体の環境(E)および社会的責任(S)の分析について専門の責任投資チームを設けています。 ESGコミッティーがグループ全体における議決権をはじめとする ESG 全般に対し、プロセスの管理・監督、推進を担っており、コーポレート・ガバナンス責任者と責任投資リサーチ部門ディレクターが共同議長を務めています。また、この2名は経営陣の直属となっています。
		議決権行使の意思決定プロセス	5	A	議決権行使方針 (こちらへ) をご参照ください。
		議決権行使助言会社の利用状況、利用目的	5	A	ISS 議決権行使の執行、行使記録保持、リサーチの提供、行使提案を担っています。行使方針・ガイドライン・行使に際し、同社の提案を参照するものの、独自に判断しています。
		体制やプロセスに変更がある場合、その内容と変更理由	2,3, 4,5, 7	A	2019年、ESGの説明責任の明確化のため、議決権行使コミッティーを ESG コミッティーと変更しました。その責任範囲においても議決権行使全般から環境・社会・ガバナンス問題の精査を始め ESG プロセスの管理・監督、推進を担います。
	利益相反を管理するための方針	方針の内容	2	A	ティー・ロウ・プライスは独立した運用会社であるため、スチュワードシップ責任上にて想定される利益相反は排除されています。よって、運用会社であるティー・ロウ・プライスと顧客間で想定される利益相反は議決権行使およびエンゲージメントに限られ、議決権行使方針 (こちらへ) およびエンゲージメント方針 (こちらへ) にて利益相反の管理および手順について記載しております。また、グループ全体で利益相反管理方針を制定しております。
		情報開示	2	A	弊社ホームページにて開示しております。
	投資先企業とのエンゲ	方針の内容 情報開示	4	A	ティー・ロウ・プライスでは長期的に投資目標を達成できると考えられる企業を厳選して投資しています。よって、

	ージメントの方針				アクティブ運用との整合性を考え、会社ごとに異なるアプローチで臨むことが最も大きな影響力を持つと考えています。
			4	A	弊社ホームページにて開示しております。
	議決権行使方針（行使基準）	方針の内容	5	A	方針について ESG コミッティーにより毎年見直しを行っております。
情報開示		5	A	弊社ホームページにて開示しております。	
ス チ ュ ワ ー ド シ ッ プ 活 動 の 結 果 報 告	議決権行使結果	議決権行使結果	5	A	議決権行使については7月～6月間の結果結果につき毎年8月末を目安に弊社ホームページに公開しております。 こちらへ また、個別運用のお客様にはご要望に応じ別途開示いたしております。また、開示範囲、頻度、および方法につき見直しを行っており、2021年にはスチュワードシップ活動の透明性向上を目指しています。
		反対・棄権行使議案の具体的内容	5	A	2018年7月～2019年6月の間に棄権した行使議案はありませんでした。弊社の方針・ガイドラインに即さない、例外行使議案は9件でした。当該9議案のうち、は取締役の選任議案が8件、定款の一部変更が1件でした。取締役の選任については賛成が5件、反対が3件でした。反対した議案は東証一部（食品）における取締役の選任に関するものが2件で、株主優先の姿勢が見られないため反対いたしました。もう1件は、東証一部（機械）における取締役選任に関するもので、同社の買収防衛策を始めガバナンスに懸念を表明したものです。賛成した議案は任期が1年未満であり業績改善に猶予を与えるべきと考えた議案が1件、2019年複数の重大な不祥事があったものの、改善策に経営陣のコミットが確認されており、未だ日が浅いため今回は反対を見送るべきと考えた議案が3件、4年前の不祥事でありすでに改善策が実施されているため反対には異議とした件が1件でした。
	株主提案賛成議案の具体的内容	5	A	2019年株主提案の議案は4件あり、取締役の選任が2件、その他が2件でした。取締役の選任については1件が株主提案に賛成、1件が反対と致しましたが、双方ともに弊社の方針・ガイドラインに沿った投票でした。その他は東証一部（機械）の資本配分方針につき株主提案に賛成としたものですが、弊社の方針・ガイドラインに沿った投票でした。	

		反対比率の 全年度との 比較・変化 の理由	5	A	当該期間の全議案に対する反対比率は5%でした。(前年比 同率)
	エンゲージ メント活動 の実績	具体的なエン ゲージメン トの内容	3,4	A	「エンゲージメント活動実績」(こちらへ)をご参照くださ い。
		投資先企業 に不祥事が あった場 合、当該企 業への対応	3,4	A	東証一部(サービス):2019年学生のデータに関する不祥 事の際に今後の対策と方針について確認を行いました。グ ループ全体にまたがる個人情報保護方針およびデータマネ ジメントの改訂・公表に加え、グループ会社をまたがる法 務部門統合など組織体制の更新、社員向け啓蒙プログラム など改善が施された結果、同社の対応策の項目において評 価を引き上げました。
そ の 他	スチュワー ドシップ活 動に関する 報告	報告資料の 様式や内容	6	A	当報告書を年1回更新し、弊社ホームページにて開示して おります。また、2020年度よりお客様からのご要望に応じ てポートフォリオの定期的なESGレポートの発行を開始 しました。
		報告の時期	6	A	議決権行使については7月~6月間の結果につき毎年8月 末まで、その他の報告は3月末を予定しております。(注:2020 年はコードの改訂が3月下旬に行われたため全て8月末に行 っております。)
	実力を高め る工夫	具体的な対 応および成 果	7	A	主体を担う運用部門、特にリサーチ部門は継続的に企業毎 のリサーチ力の強化を行っております。2019も引き続き ESG専門スタッフの拡充を行いました。また、独自の責任 投資モデル(RIIM)において対象をソブリン債へも拡大、約 14,000発行体をカバーしています。モデルへのアクセス もインターフェイスを開発し、運用部門のスタッフ全員が 容易にアクセスすることが可能となりました。

お問い合わせ先

ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社

コンプライアンス部

Eメール:Tokyo_Compliance_Public@troweprice.com

〒100-6607 東京都千代田区丸の内 1-9-2 グラントウキョウサウスタワー7F

電話番号 03-6758-3820 (代表)

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 3043 号

一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会

202008-1303229